

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1999年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫(3,600,000円)、県費(1,800,000円)の補助金の交付を受け、平成11年4月5日から平成12年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課	生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長	遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長	石井忠夫	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長	金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

編集：鍋島直久
 執筆：本文・遺構 鍋島直久、縄文土器 今井堯
 挿図割付：高橋けい子 写真図版割付：青山奈保美 土器・陶磁器復元：中田藤子 表作成：植田勢津子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、丹治つや子 トレース：小林登喜江
 土器拓影・図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子
 遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久、土本 医 遺物写真：鍋島直久、青山奈保美
 土器・石器実測の一部を(有)JAWSに委託した。
 また、整理作業全般において日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田昭明、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、石原聡、市丸靖子、内田賢司、岡田憲治、加藤智香子、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 鈴木仁子、高貝しづ子、高橋京子、田中信、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、
 柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 (有)文化財COM。
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、
 酒井昭、佐久間ひろ子、佐藤恵二、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、戸澤竹二、中嶋末子、
 野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、福田三枝子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代
 〈整理作業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
 土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム)  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1999年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡名	申請地	調査面積㎡	開発面積㎡	原因	調査期間	調査措置
1	亀居遺跡第51地点	亀久保3街区4画地	202	222	個人住宅	11.6.15~11.7.9	教育委員会で本調査
2	亀居遺跡第52地点	亀久保7街区14画地	30	121	個人住宅	12.2.1~12.2.2	試掘調査
3	江川南遺跡第10地点	東久保2街区9・10画地	18	133	個人住宅	11.5.24~11.5.26	試掘調査
4	江川南遺跡第11地点	東久保1—122—2・4	150	465	共同住宅	11.9.20~11.9.27 11.9.28~11.10.15	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
5	江川南遺跡第12地点	東久保2街区4・5画地	14	104	個人住宅	11.10.26~11.10.28	試掘調査
6	東久保遺跡第13地点	東久保381—5	10	162	個人住宅	11.11.2	試掘調査
7	東久保遺跡第14地点	東久保18街区3画地	330	823	共同住宅	11.6.29~11.7.16 11.7.19~11.7.29	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
8	東久保遺跡第15地点	東久保5街区14~16画地	9	178	個人住宅	11.8.2	試掘調査
9	東久保遺跡第16地点	東久保15街区1~5・32画地	132	334	個人住宅	11.10.1~11.10.6	試掘調査
10	東久保遺跡第17地点	東久保381—5	121	168	個人住宅	11.6.14~11.6.15	試掘調査
11	東久保遺跡第18地点	東久保27街区2画地	409	14,989	小学校グラウンド	11.11.30~11.12.15	試掘調査
12	東久保遺跡第19地点	東久保3街区9・10画地	40	108	店舗併用住宅	11.12.20~11.12.21	試掘調査
13	東久保遺跡第20地点	東久保4街区9画地	234	478	個人住宅	12.2.28~12.3.3	試掘調査
14	東久保遺跡第21地点	東久保18街区14画地	57	114	個人住宅	12.3.23~12.3.28	試掘調査
15	東久保遺跡第22地点	東久保15街区28画地	38	150	個人住宅	12.3.22~12.3.23	試掘調査
16	亀久保堀跡遺跡第21地点	東久保262・263・266	89	232	個人住宅	11.4.19~11.4.22	試掘調査
17	亀久保堀跡遺跡第22地点	東久保5街区7・20画地	40	99	個人住宅	11.6.10~11.6.12	試掘調査
18	亀久保堀跡遺跡第23地点	東久保14街区10画地	260	386	駐車場	11.10.4~12.10.8	試掘調査
19	亀久保堀跡遺跡第24地点	東久保6街区14画地	26	105	個人住宅	11.12.14~11.12.16	教育委員会で本調査
20	東久保西遺跡第8地点	東久保9街区13画地	52	135	個人住宅	11.11.2~11.11.5	試掘調査
21	東久保西遺跡第9地点	東久保14街区1・2・12画地	335	1,074	共同住宅	12.1.28~12.2.9	試掘調査
22	東中学校西遺跡第20地点	東久保39街区1画地	461	900	区画整理	11.6.16~11.7.19	試掘調査
23	東中学校西遺跡第21地点	東久保37街区1~3画地	733	1,311	店舗	11.11.18~11.12.9	試掘調査
24	東中学校西遺跡第22地点	東久保44街区15画地	56	150	個人住宅	12.3.7~12.3.9	試掘調査
25	東久保南遺跡第18地点	東久保48街区4画地	95	202	個人住宅	11.5.14~11.5.18	試掘調査
26	東久保南遺跡第19地点	東久保60街区6画地	188	466	駐車場	11.7.8~11.7.12	試掘調査
27	東久保南遺跡第20地点	東久保49街区1画地	367	1、106	店舗	11.12.22~12.1.15	試掘調査
28	西ノ原遺跡第113地点	大井苗間57・58街区	2,000	2,817	店舗	11.4.5~11.12.14 12.1.6~12.3.13	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
29	西ノ原遺跡第114地点	西ノ原194—1	272	676	駐車場	11.8.4~11.8.12	試掘調査
30	西ノ原遺跡第115地点	大井苗間52街区3画地	31	135	事務所	11.9.27~11.9.29	試掘調査
31	西ノ原遺跡第116地点	大井苗間59街区11画地	42	119	個人住宅	11.12.2~11.12.3	試掘調査
32	西ノ原遺跡第117地点	大井苗間199—2番地	42	131	店舗併用住宅	11.12.2~11.12.4	試掘調査
33	中沢前遺跡第18地点	大井苗間1丁目12番地	110	620	店舗併用共同住宅	11.7.21~11.7.28	試掘調査
34	中沢前遺跡第19地点	大井苗間32街区1・9画地	360	1,080	共同住宅	11.7.23~11.7.30	試掘調査
35	中沢前遺跡第20地点	大井苗間33街区1画地	231	374	駐車場	11.11.25~11.11.30	試掘調査
36	中沢前遺跡第21地点	大井苗間32街区4・5画地	19	120	個人住宅	11.11.29~11.11.30	試掘調査
37	神明後遺跡第10地点	苗間298—1	3	44	個人住宅	11.9.16	試掘調査
38	神明後遺跡第11地点	苗間366	97	239	個人住宅	11.10.21 11.10.22~11.10.26	試掘調査後教育 委員会で本調査
39	神明後遺跡第12地点	苗間282—2・5	8	211	共同住宅	12.3.6	試掘調査
40	苗間東久保遺跡第21地点	苗間神明後333—1	95	350	個人住宅	11.8.3~11.8.6	試掘調査
41	浄禅寺跡遺跡第18地点	苗間345—3・4	303	599	個人住宅	11.5.26~11.6.24 11.6.26~11.8.3	試掘調査後教育 委員会で本調査

V 亀久保堀跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は福岡江川とさかい川の間の標高19～21mの低位台地に位置する。現在は区画整理事業により遺跡周辺の起伏は無くなりつつあるが、以前は僅かに埋没谷や窪地がみられた。周辺は区画整理事業と大規模開発により急激に変貌している。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、北西側に江川南遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

本遺跡は1991年江川南遺跡第2地点で堀状の遺構が初めて確認された事に由来する。その後、江川南遺跡縁辺部の調査でも堀跡の続きが確認されたため、遺跡の変更増補を行い、1998年に亀久保堀跡遺跡として新たに遺跡の範囲と遺跡名を設けた。

これまでの調査から堀は、福岡江川付近から南下し、地藏院の東約80m付近で南東に向きを変え、約600m以上直線で延びる。堀の規模は上幅約3m、底幅約1.5m、深さは地表面から約1m、長さは600m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが、出土遺物は無く、時代などは不明である。本遺跡に隣接する地藏院は、南北朝期の二階堂氏との関係から氏の館跡との想定もされており、堀跡との関係などが今後の課題であろう。

亀久保堀跡遺跡の範囲からは、縄文時代の落とし穴や近世の溝跡などが新たに確認されている。

本遺跡では2001年3月現在、28ヶ所で調査が行なわれている。



第23図 亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

2 亀久保堀跡遺跡第21地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1999年4月14日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の縁辺部に位置するため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲確認のため試掘調査を実施した。

調査は4月19日から幅約2mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行ない、溝1本とピット7を検出した。

(2) 遺構

溝はトレンチ1・2にまたがって、クランク状に延びる。検出部の規模は長さ14.5m、上幅105~137cm、下幅52~70cm、深さは最深部で35cmを測る。

ピットはトレンチ1・2にまたがり、直線に延びており、柵列とみられる。

第9表 亀久保堀跡遺跡第21地点ピット一覧表

単位cm

	平面形態	確認面径	底 径	深 さ
1	楕円形	45~25	13~7	41.7
2	円 形	40~34	18~15	58.5
3	円 形	(35)~27	10~5	67.7
4	円 形	30~30	9~9	67.4
5	楕円形	45~30	14~14	40.3
6	円 形	36~30	20~(13)	42
7	楕円形	40~24	9~4	59.3

3 亀久保堀跡遺跡第22地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1999年5月20日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の縁辺部に位置するため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲確認のため試掘調査を実施した。

調査は6月10日から幅約2mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行ないピット5を検出した。ピットはトレンチ2の中央部に位置し、覆土層の観察から近世以降とみられる。

4 亀久保堀跡遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は砂利敷駐車場造成に伴うもので、原因者より1999年11月15日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の範囲確認のため試掘調査を実施した。

調査は、東久保区画整理組合が重機で表土を除去した後、教育委員会が人力による調査を行なった。調査区内を対角線に延びる堀跡の範囲を確認したが、南東部は廃棄物の投棄による攪乱を広範囲で受けている。一部で堀跡の深さを確認し調査を終了した。

5 亀久保堀跡遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1999年12月2日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、本調査を実施した。

調査は12月14日から重機による表土除去後、人力による調査を行ない堀跡1本を検出した。

(2) 遺構

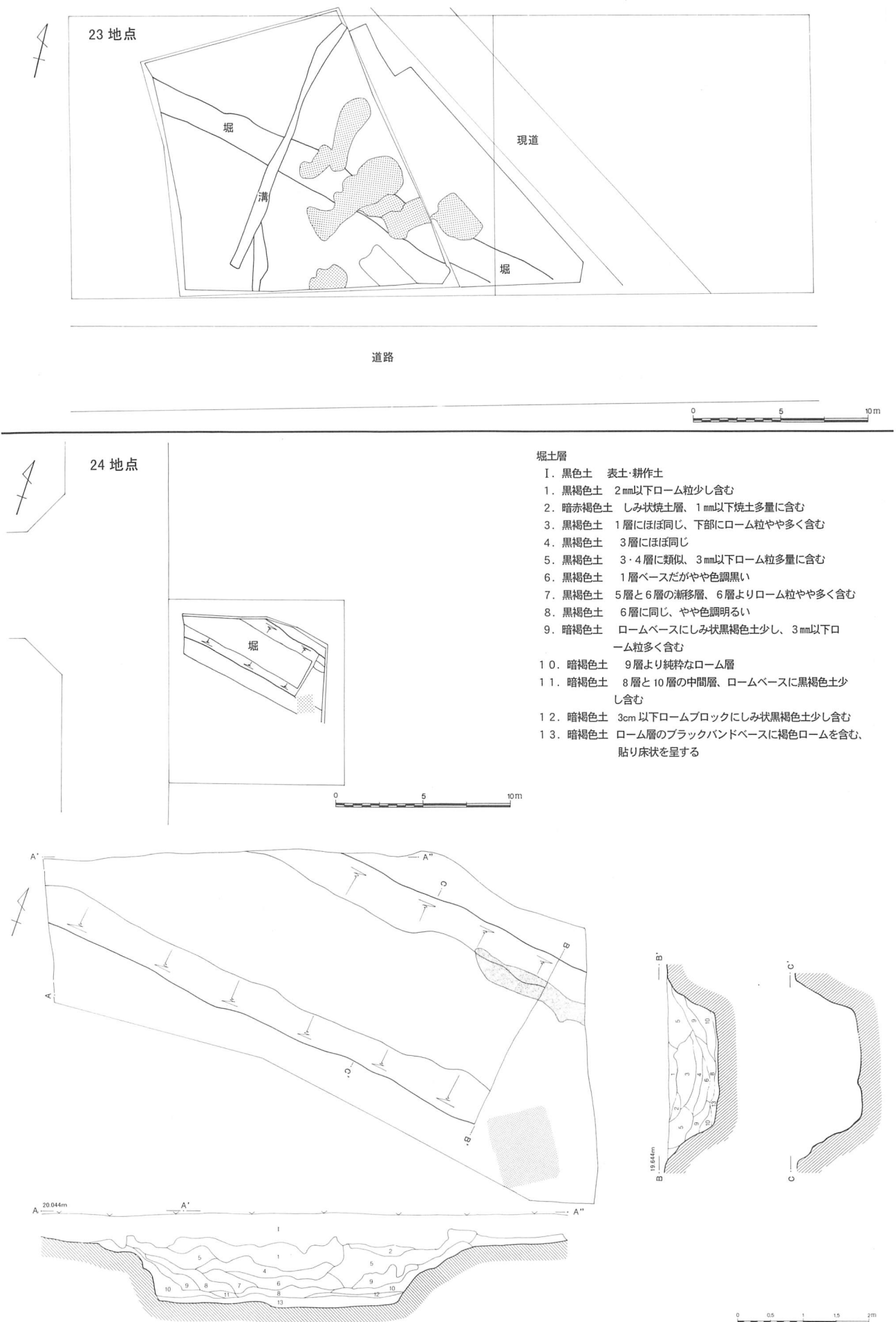
堀の断面は「U」字状を呈し、東側が深く僅かに傾斜している。他の地点の堀跡の調査で確認されている焼土層が、覆土の2層にみられる。覆土の最下層はローム層で貼床状を呈する。

検出部の規模は長さ9.7m、上幅2.75~2.85m、下幅1.7~1.9m、深さは確認面から最深部で1.05mを測る。

第10表 亀久保堀跡遺跡第22地点ピット一覧表

単位cm

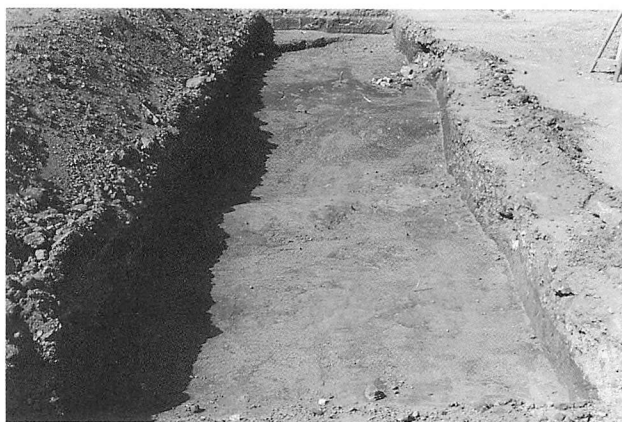
	平面形態	確認面径	底 径	深 さ
1	楕円形	40~26	5~6	46.4
2	円 形	25~22	14~9	54.1
3	円 形	25~15	10~6	55.6
4	円 形	53~43	35~15	60.1
5	楕円形	30~18	19~5	30.3



第25図 亀久保堀跡遺跡第23・24地点遺構配置図 (1/300) ・第24地点堀跡 (1/80)



東久保遺跡第21地点試掘全景



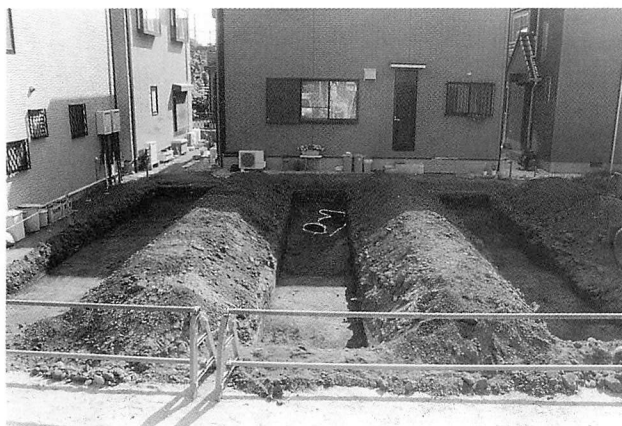
東久保遺跡第22地点試掘トレンチ



亀久保堀跡遺跡第21地点溝



亀久保堀跡遺跡第21地点溝・ピット



亀久保堀跡遺跡第22地点試掘全景



亀久保堀跡遺跡第23地点試掘全景



亀久保堀跡遺跡第24地点堀



亀久保堀跡遺跡第24地点堀